

私の山旅



日本曹達株式会社 技術顧問
長内 敬明

Yoshiaki Osanai

私の山旅

わたくしの趣味の一つは、百名山登頂です。登山を始めたきっかけは、町内に住む知人から、岩手県早池峰山はやちねさんに行くけど行ってみない？と誘われたことに始まります。山で美味しいお酒が飲めるという単純な考えからでした。2010年この年から山旅が始まりました。1泊2日の山行でしたが、1日目は、薬師岳やくしだけのヒカリゴケを観察し、2日目に河原の坊から早池峰山に登りました。当日は天気恵まれ、すぐ隣に岩手山ひめかみさんや姫神山ちようかいさんが望まれ、遠くには鳥海山も望むことができました。この絶景を見た途端山旅にはまってしまったのでした。

日本一の山への挑戦

百名山に挑戦といえ、なんとといっても富士山に登りたくなるのが人間の欲望ですよね。翌年の2011年地元の旅行会社が企画した富士山ツアーに参加、1泊2日の行程で無事登頂。

その後、私の百名山踏破の計画は続くのですが、戦略として、遠いところから制覇していこうと決めたのでした。これが後々失敗であることに気づくのでした。

早速遠いところ、まずは北海道りしりだけの利尻岳に2012年に登頂。翌年には、最南端屋久島の宮之浦岳みやのうらだけ（九州で一番高い山）に登頂。順調な滑り出しです。

2014年には、富山県の立山たてやまに出かけました。こも一人で計画し、登頂できました。同じ年に岩手山、翌年には鳥海山（山形県と秋田県の県境にある山）と東北の山も攻めました。

日本第2位の標高の山は？

標高第2位の山はと聞かれると首をかしげる方が多いと思います。私も知りませんでした。

正解は南アルプス北岳3193mです。2015年に無謀にも一人で出かけました。山小屋2泊3日の山旅でした。

同じ年に、北海道の旭岳ようていざん、羊蹄山つるぎさん、四国の剣山いしづちさん、石鎚山だいせん、中国地方の大山あまぎさん、関東の天城山たんざわさんと順調に登頂しました。

翌2016年には、15名山に登頂し、この時点で合計40名山を踏破しました。

続々と制覇していく！

2017年に登頂した百名山は18座で、合計58座となりました（山を数える際に「座」という単位を使用します）。登頂した山を紹介すると、5月13日大分県の久住山くじゆうさん、同14日祖母山そぼさん。5月31日福島県の磐梯山ばんだいさん。6月3日奥秩父の甲武信ヶ岳こぶしがたけ、同4日金峰山きんぶさん（山梨県と長野県の県境にある山）、5日山梨県の瑞牆山みずがきやま。6月12日皇海山すかいさん（栃木県と群馬県の県境にある山）、同13日群馬県の武尊山ほたかやま。7月19日南アルプスの悪沢岳わるさわだけ、同20日赤石岳あかいだけ（長野県と静岡県すいしょうだけの県境にある山）。8月3日北海道のトムラウシ山すいしょうだけ。9月1日北アルプス裏銀座水晶岳すいしょうだけ、同2日鷲羽岳わしぼだけ（長野県と富山県の県境にある山）。9月12日北アルプス槍ヶ岳やりがたけ（図1、図2）、同13日常念岳じょうねんだけ。10月6日上信越の雨飾山あめかざりやま、同7日巻機山まきはたやま。10月31日東京都最高峰雲取山くもとりやまでした。中でも一番印象に残ったのはトムラウシ山です。トムラウシ山と言えば、今から16年ほど前の7月に某トラベル社が企画したツアーで、8名が低体温症で死亡した事件が

有名です。また北海道と言えばヒグマの恐怖もあり、なかなか一人では入り込めない山ばかりです。今回は地元のマウンテック大橋社のツアーに参加しました。行程は赤岳銀泉台入口から白雲岳、忠別岳を経由してトムラウシ山に至り、トムラウシ温泉に下山する、3泊4日コースでした。期間中天気が大きく崩れることもなく順調に縦走できました(図3)。

道迷いに注意

2018年には、栃木県那須岳(6月22日)、北海道雌阿寒岳(6/29)、北海道羅臼岳(7/2)、福島県津駒ヶ岳(7/15)、長野県木曾駒ヶ岳(7/24)、長野県空木岳(7/26)、北海道幌尻岳(8/8)、長野県塩見岳(8/22)の8座に登頂し、合計66座に登りました。

この年登った山の中から、道迷いをしたエピソードを紹介します。この年最初に登った那須岳でのことです。この山には三斗小屋温泉という温泉宿があり、徒歩でしか行けないところです(図4)。是非行っ

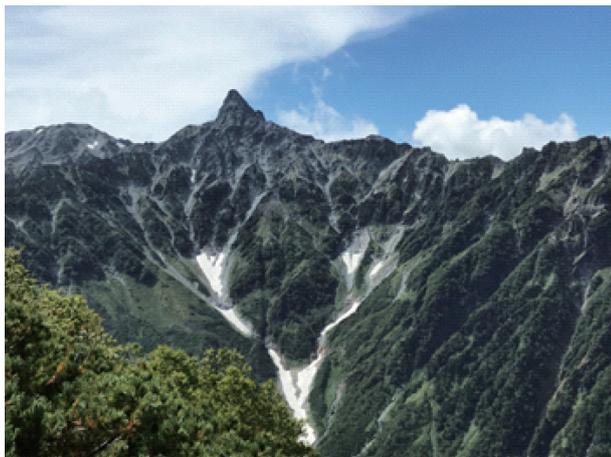


図1. 槍ヶ岳(9月13日登頂)



図2. 槍ヶ岳頂上にて

てみたい秘境であり投宿しました。混浴の露天や、内湯もありゆっくり疲れを取ることができました。翌日、そこから来た道とは別のルートで帰ることにしました。温泉の裏から登山道があるはずでしたが、宿に引き込んでいる温泉のパイプがある沢に入ってしまった。てっきりそこが登山道だと思ったのです。上に登るに従って笹が濃くなり、1時間の藪漕ぎを強いられました。幸い上に行くに従って笹が細くなったことと、携帯のGPSのおかげで本来の登山道に戻ることができました。一人で山の登りは危険と改めて感じました。

皆様も、お一人で山に入る際には十分お気をつけてください。

奥深い北海道の山々

2018年に塩見岳のあとに登頂した百名山は3座で、合計69座となりました。登頂した山を紹介すると、8月6日北海道のカムイエクウチカウシ山。9月9日山梨県の甲斐駒ヶ岳、同10日仙丈ヶ岳(長

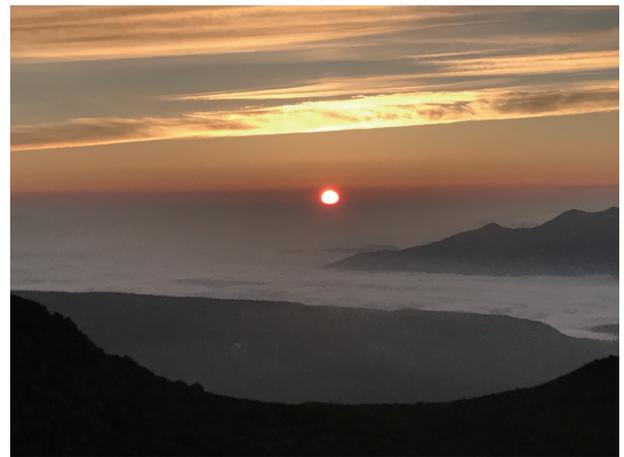


図3. トムラウシ山頂からの日の出



図4. 那須岳奥にある三斗小屋温泉
左が大黒屋、右が煙草屋温泉

野県と山梨県の県境にある山)。10月23日山形県月山がつさんでした。中でも一番印象に残ったのは百名山ではありませんが、幌尻岳(図5)の2日前に登ったカムイエクウチカウシ山(二百名山)です。アイヌ語で、クマでも滑り落ちる山という意味です。この年もマウンテック大橋さんにお世話になり8月3日札内ダムから7人のパーティーで入山、その日のキャンプ地まで6時間30分の歩行、翌日キャンプ地から朝4時30分に出発し、頂上到着12時、休憩後キャンプ地にたどり着いたのはなんと夜の9時。休憩も含めてですが、16時間30分の行動。これまでで最長となりました。頂上付近はヒグマの糞が至る所にありましたが幸い遭遇することはありませんでした。

北海道制覇

2019年は、北海道の2座、7月1日に斜里岳しゃりだけと7月3日に十勝岳とからだけに登りました。この2座は、昨年、一昨年と雨や風のために登頂を断念した山でしたの



図5. 幌尻岳山頂にて

で、達成感がありました。北海道の百名山は、この2座を持って終了しました。

8月に入って、8月4日に富山県にある薬師岳、8月5日に富山県と岐阜県の県境にある黒部五郎岳くろべごろうだけ(図6)、さらに8月6日に岐阜県にある笠ヶ岳かさだけ(図7)の3座に登頂し、合計74座に登りました。

この三座は、奥深く、それぞれの移動に8時間から9時間を要するため、骨の折れる山旅でした。行程は、1日目は富山県側の折立から入山し、太郎兵衛平たろうべえだいらを経て薬師岳へ。2日目は、薬師岳山荘から黒部五郎岳を経て黒部五郎小屋へ。3日目は、黒部五郎小屋から三俣蓮華岳みつまたれんげだけ、双六岳すごろくだけを経て笠ヶ岳へ。4日目は笠ヶ岳山荘から笠新道を経て新穂高温泉へ縦走するロングコースでした。

紅葉の素晴らしい山々

2019年には、百名山ではありませんが、岩手県にある八幡平山系の三石山登山の報告をします。9月28日に私の所属する平川山岳会のメンバー数名



図7. 朝日を浴びる笠ヶ岳



図6. 黒部五郎岳のカルとコバイケイソウ



図8. 三石山山頂

で出かけました。標高 1466m で、どの方向から見ても三つの峰に見えることが名前の由来とのことです。網張り温泉から登頂するのが一般的らしいですが、我々は、松川温泉からのルートで約 3 時間ほどで山頂に着きました。温泉付近の駐車場は、岩手県ナンバーの車はもちろん、関東周辺のナンバーの車も多く見られ、人気の高さを示しているようでした。山頂からの眺めは、ナナカマドや、ミネカエデの紅葉が素晴らしく、多くの登山者で賑わっていました(図 8)。

岩手山に袴をはかせたような紅葉と言われているとのことで、興味のある人は一見の価値がありそうです。見頃は 9 月中旬から約 2 週間ほどとのことです。

コロナ禍での登山

2020 年の百名山登頂は、コロナ禍に於いて、3 名山に登頂したことを報告します。今回は、黒石山岳会の W 氏と私の 2 名のみで、車による移動をしまし



図 9. 尾瀬ヶ原を挟んで、東北最高峰燧ヶ岳を望む。

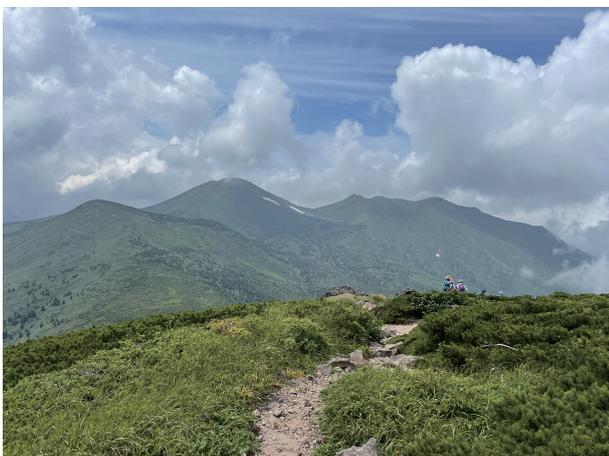


図 10. 高田大岳から小岳、八甲田大岳を望む

た。9 月 28 日黒石から群馬県片品村の民宿まで車で移動。翌 29 日民宿から武尊牧場キャンプ場まで車で移動し、そこから武尊山標高 2158m に登頂、同じルートで下山しました。山頂付近には、日本武尊銅像があり、山岳信仰の山のようなです。翌 30 日同じ民宿から戸倉駐車場まで車移動し、乗り合いバスにて鳩待峠まで移動。山の鼻から至仏山標高 2228m に登頂、小至仏山を経由する巡回コースで鳩待峠に下山。その足で、車にて長野県栄村にある民宿に移動。翌 10 月 1 日、民宿から長野県側三合目駐車場に移動。そこから、苗場山標高 2145m に登頂往復しました。苗場山には、いくつかの登山ルートがあり、新潟県側からの登山が一般的なようです。しかし今回は、最短ルートと思われるコースを選択しました。

写真は、至仏山から尾瀬ヶ原を挟んで、東北最高峰燧ヶ岳を望んでいます。尾瀬ヶ原の草紅葉がとてもきれいです(図 9)。

青森県の百名山八甲田山

2021 年の山行は 7 月 27 日に行った青森県の高田大岳(図 10)から小岳を経由して酸ヶ湯に降りた山旅を紹介します。平川山岳会の皆さんと行った山旅です。まずは車を酸ヶ湯温泉にデポし、谷地温泉に車で移動して、そこから登山を開始しました。8 時 16 分に谷地を出発し、ほぼ直登に近い高田大岳の登りを 3 時間 33 分をかけてゆっくり上りました。頂上付近では八甲田神社の祠を修理中でした。頂上で昼食後小岳に向けて下山、1 時間 33 分で小岳到着、立ち休憩の後、硫黄沢を経由して約 2 時間で酸ヶ湯に到着しました。途中硫黄沢は、雪解けの崩壊のためか歩行に注意が必要でした。走行距離は約 8.6km で、若干疲れしました(図 11)。



図 11. 歩行図

あとがき

私の百名山登頂は残念ながら現在 76 座で停滞しています。あと 24 名山が残っておりますが、自分の年齢を考えるともう無理かなと考えております。最初に私の計画が失敗したという理由は、難しい山から攻略すべきということでした。私を補佐してくれる人が居たら残る山を制覇できるかもです。